

レクリエーション・コーディネーター新カリキュラム構成試案 課程認定校での、学習成果を活かす領域に学びを焦点化するコース制の導入

課程認定校連絡協議会等との議論の積み上げを踏まえ、今後目指すべきRC養成の構造を、現状では次のように想定している

RC資格を取得した学生が就職先で学習成果を活用しやすくなる(=何のために、どのような学習をして、何ができるようになるのかを明らかにする)ことを主眼として、学校、学部・学科等の方針や学生のニーズに即して焦点化した学習ができる複数の学習コースを想定し、それらを内に含むRCとしての学習内容、目標、カリキュラムを再構築する。

具体的には、RCに共通する基本的な知識、技術等の学習(基礎学習、レク・インストラクター該当学習領域)と、学習成果を発揮する場に即して基本的な知識、技術等を応用する力・求められる専門的な知識、技術の習得を行う(専門資格としての学習領域)。

現状では、課程認定校においては、学校教育(体育、学校行事等)と、生涯スポーツの2コースからのスタートを想定している(なお、通信教育課程での養成においては、都道府県レクリエーション協会の組織・事業をはじめとする地域での組織、事業での学習成果の発揮という視点で焦点化した学びのコースを想定している)

RCの能力(育成目標、できるようになること)の想定

RC共通の想定	学校教育のコースでの学習の想定
<基本的な知識・技術の焦点> 対象者個人の内的動機やコミュニケーション能力の強化(そのための集団の力の活用)や、良好な集団の育成・強化等のために、個別のレク活動(メニュー)を展開できるインストラクション・スキル	<基本的な知識・技術の学習> 体育や学級活動、学校行事を想定した教材(児童・生徒を主な対象としたレク活動等)を中心に、個人や集団の成長を促すためのレク活動の展開力(言葉かけ等も含む個別のレク活動のインストラクション・スキル、個別のレク活動や1回のプログラムの展開の構想力)
<応用力や専門的な知識・技術の焦点> 個別のレクリエーション支援のチャンス=レクリエーション事業に求められる目標に応じて、適切にインストラクション・スキルを活用し、個別のレク活動やプログラムを効果的に展開する能力	<応用力や専門的な知識・技術の学習> 体育の学習過程・課題(身体づくり、運動への動機づけ等)、学級活動や学校行事等の過程・課題(クラス集団、学年集団の成長等)に応じて、適切なレク活動を効果的に展開する能力
上位の組織のねらい、事業の目標に向かう確かな見通しにそって、レク事業を配置し、個別の事業のレク支援としての具体的な到達目標の設定と有効なプログラミングをすることができる能力(なんのために、どのようにその事業を実施するのか、意図と計画、評価等について明確に説明できる能力)	体育の年間、単元等の目標、学校、学年の教育目標、学級経営の年間、学期等の目標にそって、体育の授業や学級活動や学校行事でのレク活動を通じた達成目標を設定し、そのためのレク活動の組み合わせ等のプログラミングができる能力

新カリキュラム構成の手順

学校教育領域と生涯スポーツ領域の2コースを想定した新カリキュラム構成試案(検討原案)の作成

上記試案(検討原案)の公開と意見募集(本集会での紹介、依頼と、その後のホームページ等での紹介、意見募集)

上記の意見及び、各RC養成課程認定校の意見を踏まえた学校教育、生涯スポーツ各領域のコースにおける具体的な学習の想定

(この想定についても、適宜中途の経過を公開し、広く意見を求め、作業に反映させる)

上記の想定作業の成果を集約したカリキュラム(共通の科目、目標、テーマ、内容)コースに応じた学習目標・内容例の検討

上記を整理した、新カリキュラム表案、運用ガイド案等の策定 平成22年11月

平成23年度より、可能な課程認定校には、新カリキュラムでの教育の実施をお願いし、その経緯、成果を反映させながら、新カリキュラムの成案をH23年11月に公開

その後の4年程度を移行期間とし、履修モデル、モデル・シラバス、教育方法の共有を図りつつ、カリキュラム内容についても改善を施す。

意見集約・検討及びそれらに基づくカリキュラム等の構成については、RC課程認定校教員及び日本レク協会から構成されるワーキング・チームで実施する。

	カリキュラム想定部分	コース別の運用ガイド想定部分(カリキュラム表に掲載想定)	カリキュラム表非掲載想定
	科目、学習目標、学習テーマ、学習内容(コース共通)	学校領域を想定したコースの学習目標・内容例	備考(コース内でさらに焦点化して学習を展開する際のイメージ等)
コーディネーターのみの学習部分	科目1:活動領域及び支援対象の理解【~35時間】		
	学習目標(以下) RCとして活動する領域の基本的な理解及び課題の把握	目標例(以下) レクリエーション・コーディネートの知識、技術を活用する学校教育や児童・生徒の基本的な理解	現行カリキュラムでの該当科目(以下) 共通科目講習 試験免除授業科目
	学習テーマ1:活動領域の理解 学習内容1:社会全体と活動領域 学習内容2:活動領域の特徴(基本的な理解)	内容例(以下ex) 現代社会と学校教育/集団としての教育等 ex 初等・中等教育/学校教育/学級経営等	スポーツ社会学、経営学、行政
	学習テーマ2:支援対象の理解 学習内容1:人や集団のメカニズムと支援対象 学習内容2:支援対象の特徴(基本的な理解)	* 子どもの心身/子どもを取り巻く環境/子ども集団等 * 児童・生徒の発達過程/学級集団の形成過程等	スポーツ心理学、生理学、医学、指導論
	科目2:レクリエーション・コーディネートの基本技術(基礎実技)		
	学習テーマ1:レク支援の場づくりと運営の基本【2単位1科目】【~15時間】 支援対象にとってのレク支援の意義、支援の基本的な方法や支援者としての姿勢の理解	教育者としてレク支援を活用する際に求められる基本的な知識や、レク活動を介して児童・生徒(個人・集団)に働きかける基本的な技術を、学校教育の課題・場面に即して理解する	専門科目講習免授業科目 レクの基礎理論、支援の理論(6イフスタイル、少子高齢化、地域とレク)、組織の経営論(レク運動を支える組織)、レクサービス論(レク事業とは)
	学習内容1:レクの基礎理論	ex 学校教育におけるレク支援の種類・方法/教員としてのレク支援の指針	

インストラクター (基礎)学習部分	学習内容2 レクリエーション支援論	ex 児童・生徒の発育・発達課題とレク活動/発育・発達や教育の課題に応じたレク活動の実際	
	学習内容3 レクリエーション事業論	ex 授業や行事での計画的なレク活動の実際/計画的なレク活動の企画、実施体制	
	学習テーマ2:レク活動のインストラクション・スキル 【1単位 2科目】【~36時間】 学習内容1:コミュニケーション・ワーク 学習内容2:目的にあわせたレク・ワーク 学習内容3:対象にあわせたレク・ワーク 学習内容4:総合演習	ex 児童・生徒との良好な関係づくりのための基本的な態度/1人や数名の児童・生徒とのレク活動の実際・基本的な展開技術 ex 集団を介した児童・生徒の心身の成長の支援や、児童・生徒集団の成長の支援を目的としたレク活動の実際・基本的な展開技術 ex 授業や行事などの場面、対照となる児童・生徒、学級等にあわせたレク活動のアレンジの実際・基本的なアレンジ方法	*学級経営のためのレク活動のインストラクション技術 ・クラスの子もたちとの信頼関係づくりのための態度、接し方 ・レク活動を用いた良好な関係づくりの技法 *学級イベントや行事での、集団を育むレク活動の展開技法 ・自尊感情・自己効力感の強化や、子ども集団づくり(コミュニケーション、集団の効力感の強化)に役立つ、行事やイベントでのアクティビティの展開法(現場向けのメニューを通じた、段階設定、CSSP等の基本技術の実践的な活用体験) *学級イベントや行事のレク活動のアレンジ、創作 児童・生徒個人や学級集団の現状、目標にあわせたレク活動のアレンジや創作の方法
	科目3:レクリエーションコーディネート演習【~88時間】		
コーディネーター のみの学習部分	RCとしての活躍の場面の広がりに応じて基本技術を応用する力の獲得、及び確かな見通し、意図をもってレク事業を企画・運営するための方法の理解	多様な学校行事や地域と学校教育の交流事業等へのレク活動のインストラクション・スキルの応用の実際及び、学校教育の課題に応じた意図的、計画的なレク事業の企画・運営方法を理解する	マーケティング技法の実際/ネットワーキングの実際/プレゼンテーションの実際/プロモーションの実際/効果的な会議の持ち方/経理・財務管理の実際
	学習テーマ1 :レク事業でのインストラクション・スキルの活用演習 グループワークの基本理論 技術の援用含む	ex 様々な学校行事、校外、保護者との行事等多様な場面(そこの実施の意図)に応じた、アイスブレイクや交流促進、グループ形成等のレク活動の展開方法 ex 多様な場面(そこの実施意図)に応じた、レク活動のアレンジ、創作方法	*学校全体や各学年の行事、保護者が参加するイベントや地域との交流行事でのレク活動展開演習 *学級集団の成長を促すレク活動のアレンジと展開(手段性、有効性の深化としての応用力)
	学習テーマ2:レク事業の企画・運営演習 PDCAサイクル、上位の組織、事業の目標に対する見通し、社会資源の活用事業の記録・評価の方法含む	ex 学校教育の具体的なケースから、レク活動を活用することが効果的な行事・イベントのタイプや、それらのレク支援としての具体的な到達目標(様々な機能)の理解 また、それらの到達目標に応じた、個別の行事・イベントの運営プランの立案方法	*学級経営目標に即したレク事業の目標設定 ・学級経営計画のケースから、学級活動、行事、イベント等のタイプやレク支援としての具体的な到達目標(様々な機能)を理解する *個別のレク事業のプランニング ・児童・生徒の目標の達成を前提とした、個別の学級活動、行事、イベント等の運営プランを立案する(複数のタイプの事業についてとあける)
	学習内容3:総合演習		
学習テーマ3:支援実習 【1単位 2科目】【90時間】			

青字は、学校領域のコースを、教育部教科教育等を履修しながら小学校教員を目指す学生に向けた「学級経営」に焦点化し運用する場合の学習イメージ